

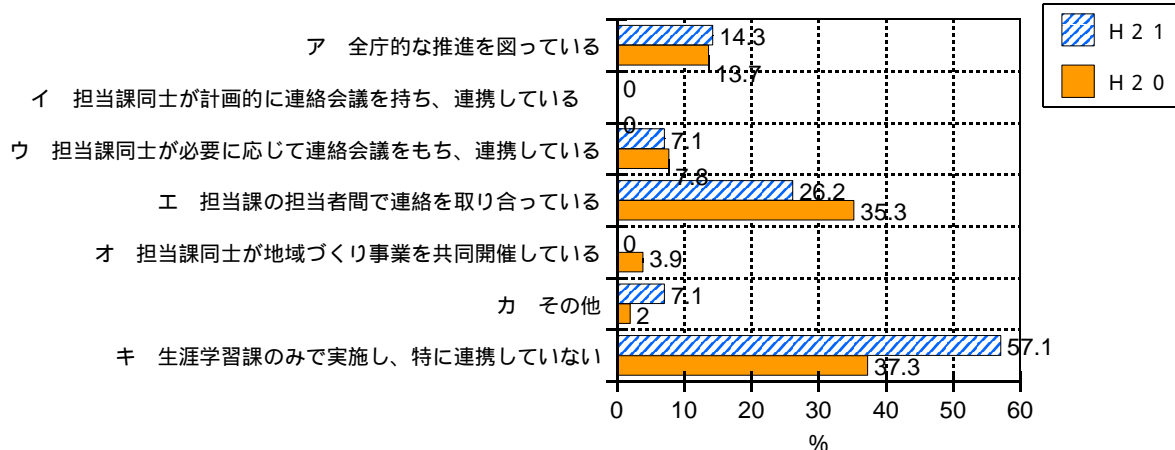
# 平成21年度 市町村における「地域づくり型生涯学習」に関する調査 取りまとめ結果 (人づくり文化課)

## A 「地域づくり型生涯学習」推進について

問1 「地域づくり型 生涯学習」の推進にあたって、貴市町村では生涯学習担当課とまちづくり担当課との連携をどのように図っていますか。次のア～キのうち、該当する項目すべてにつけてください。

	計	20年度
ア 生涯学習を総合行政としてとらえ、生涯学習推進会議などを設置し、全庁的な推進を図っている。	6 (14.3%)	7
イ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、計画的に連絡会議を持ち連携を図っている。	0 (0.0%)	0
ウ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、必要に応じて連絡会議を持ち連携を図っている。	3 (7.1%)	4
エ 生涯学習担当課とまちづくり担当課の各担当者が、連絡を取り合い連携を図っている。	11 (26.2%)	18
オ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、地域づくり事業を共同開催している。	0 (0.0%)	2
カ その他	3 (7.1%)	1
キ 生涯学習担当課のみで(あるいは中心となって)事業を行っており、特にまちづくり担当課との連携は図っていない。	24 (57.1%)	19

市町村における庁内担当課同士の連携について



- ・総合的な行政としての取り組み(回答ア)は、ほぼ昨年度並み。
- ・連絡会議・連絡(回答イ～エ)については減少。
- ・過半数の市町村が、生涯学習課担当のみの対応。

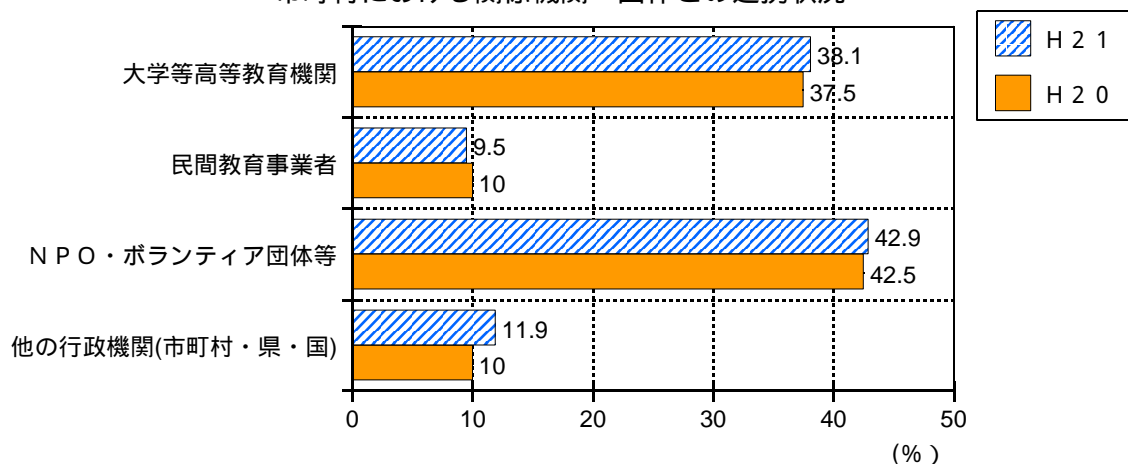
問2 貴市町村でも「地域づくり型生涯学習」の推進を意識した取組を行っていますか。  
 今年度(21年度)の取組及び来年度(22年度)の実施計画について、具体的事例があればお書きください。

「団塊の世代のための市民講師養成講座」、「地域課題解決入門講座」  
 「食文化からまちを元気にするWG」、「特産品のブランド化WG」、「歴史回廊WG」  
 「子どもまちづくり講座」  
 「史跡講座」、「青少年ふるさと歴史ガイド講座」  
 「地域の歴史講座」、「地域の季節料理講座」  
 ..... etc

問3 「地域づくり型生涯学習」の推進にあたって、次の関係機関・団体と、どのような連携を図っていますか。具体的事例（計画中のものも含む）があればお書きください。【改訂】

大学等高等教育機関	・事業の企画・運営に関する指導・助言 ・講師の派遣 ・講座の企画・運営	16 (38.1%) (20年度: 15)
民間教育事業者	・講師の派遣	4 (9.5%) (20年度: 4)
NPO・ボランティア団体等	・事業の委託 ・事業運営の協力 ・講師の派遣	18 (42.9%) (20年度: 17)
他の行政機関(他の市町村、県、国)	・情報交換 ・講師の派遣	5 (11.9%) (20年度: 4)

市町村における関係機関・団体との連携状況



・「大学等高等教育機関」や「NPO・ボランティア団体等」との連携は多くの市町村で図られており、前回調査より微増傾向にある。

問4 「地域づくり型生涯学習」を進める上での問題点や課題など、お感じのことやお考えがあれば、以下にお書きください。

継続的に活動続けるためのノウハウがなく、予算面からも継続的活動が困難である。参加してもらえる方が時間的に余裕のある高齢者中心になってしまう。近隣市町が互いに連携できる仕組みを作れば、不足している分野の人材の紹介や斡旋ができるのではないかと。全庁的な取り組みができていないので、推進していくうえで継続が難しい。住民の「地域づくり」の認識は高まっている。これが地域に根付いていくよう、情報の提供や活動の提供など、こまめな対応をしていく必要性を感じる。既存事業の中にも、実態は地域づくり型生涯学習といえるものがあるので、拾い出していく必要がある。

問5 現在の「岐阜県生涯学習振興指針～地域づくり型生涯学習の推進～」に対するご意見などがあれば、以下にお書きください。【新規】

【指針の概念、県の取組について】

指針の記述では、「個人的生活の充実のための生涯学習」と「社会的生活の充実のための生涯学習」は、別々の活動のように見えているが、本当は表裏一体（同時進行）で進む学習活動であると思う。

県の施策の方向は現状をよく認識し、進むべき方向も的確なものと考えられる。ただ、地域・区域にはそれぞれ独特な地域性があり、それをいかに活かして特色（個性）のある「地域づくり型生涯学習」を推進していくかが一つの課題であり、個性ある地域づくり型生涯学習は地域に活力を育む生涯学習になるのではないかと。

社会教育文化課より発表があった平成22年度の社会教育・文化振興の重点施策にも「地域づくり型生涯学習の推進」の項目があると良い。

【各市町村の取組について】

子育て支援については、市で行うボランティア講座修了後、託児員として活躍いただいているが、その他の講座は、個人的生活の充実に留まっている。

本市最上位の第3次総合計画（2001～2010年度）において、既に生涯学習体制については、「趣味・余暇時間の活用型」に加え「まちづくり活動型」への機運について言及し、学習効果が地域に生かされる取り組みを位置づけている。次期の第4次総合計画においても地域協働の視点について重要な視点として策定中である。

【社会教育施設について】

地域づくり型生涯学習の推進において、公民館やコミュニティセンター、図書館など社会教育施設等の役割について明記されていない。

【人材の活用】

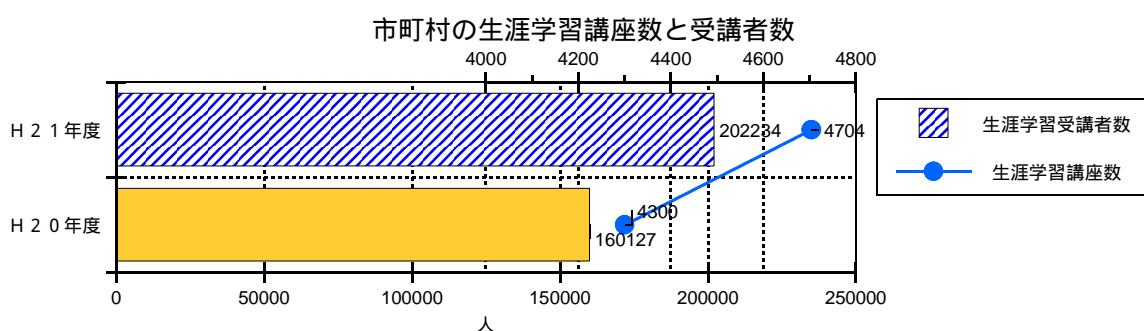
生涯学習コーディネーターは、飛騨地区での受講者が情報公開を拒否している場合が多く、新規の養成も無くなり、活用できる状況ではない。

## B 貴市町村での取組について

問6 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座について教えてください。

	講座数	募集定員	受講者数	人口1,000人あたりの講座数	講座の定員充足率
21年度	4,704	109,603	202,234	2.26	184.5%
20年度	4,300	105,426	160,127	2.17	105.7%

- 1 通年(1年間)、半期、短期のいずれの講座も1講座と数えてください。
- 2 受講者数は、「申し込み時」の人数で結構です。
- 3 募集人員が無回答の市町村は、受講者数を募集人員とした。



・生涯学習の開講講座数および受講者数は年々増加している。

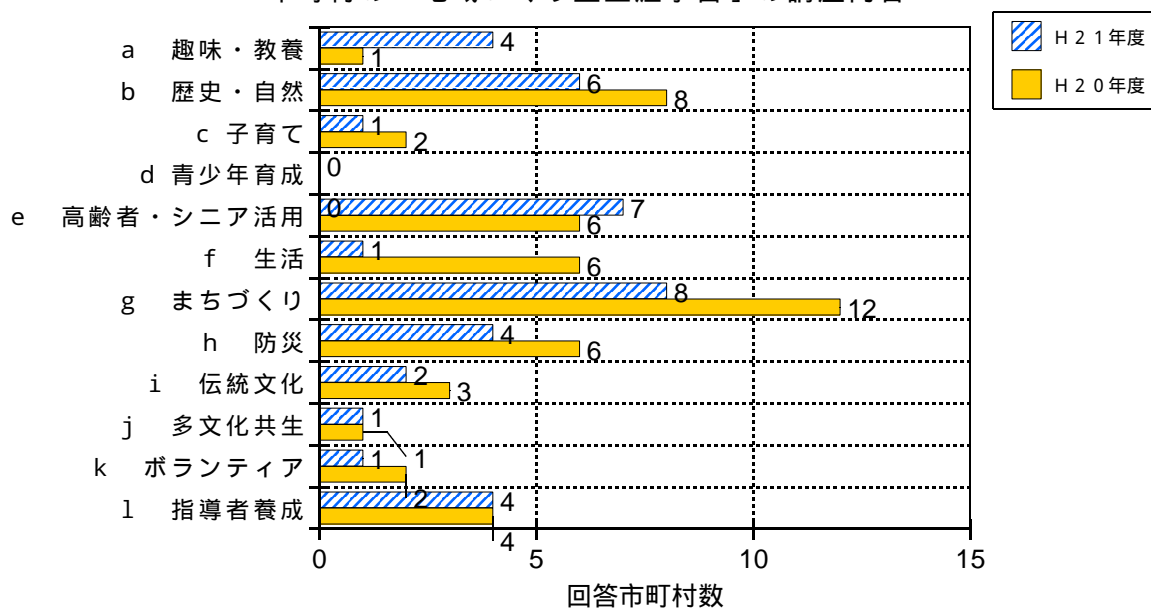
問7 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座について、特に人気のある講座や分野等、お気づきの点を以下にお書きください。

健康増進に関する講座、食・料理に関する講座、文化的な趣味の講座  
 託児を開設しているため、子育て関係の講座が若いお母さん方に人気である。  
 夏休み中の小学生対象の生涯学習講座は参加人数が多い。  
 歴史探訪や自然散策などの講座は人気が高い。  
 普及率が著しいため、デジカメ活用講座は年齢を問わず幅広い方々の参加がある。

問8 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座のうち、「地域づくり型生涯学習」に関する講座（地域の実情に応じた課題に関する講座）があれば、以下にお書きください。

	計	20年度		計	20年度
a 趣味・教養	4	1	g まちづくり	8	12
b 歴史・自然	6	8	h 防災	4	6
c 子育て	1	2	i 伝統文化	2	3
d 青少年育成	0	0	j 多文化共生	1	1
e 高齢者・シニア活用	7	6	k ボランティア	1	2
f 生活	1	6	l 指導者養成	4	4

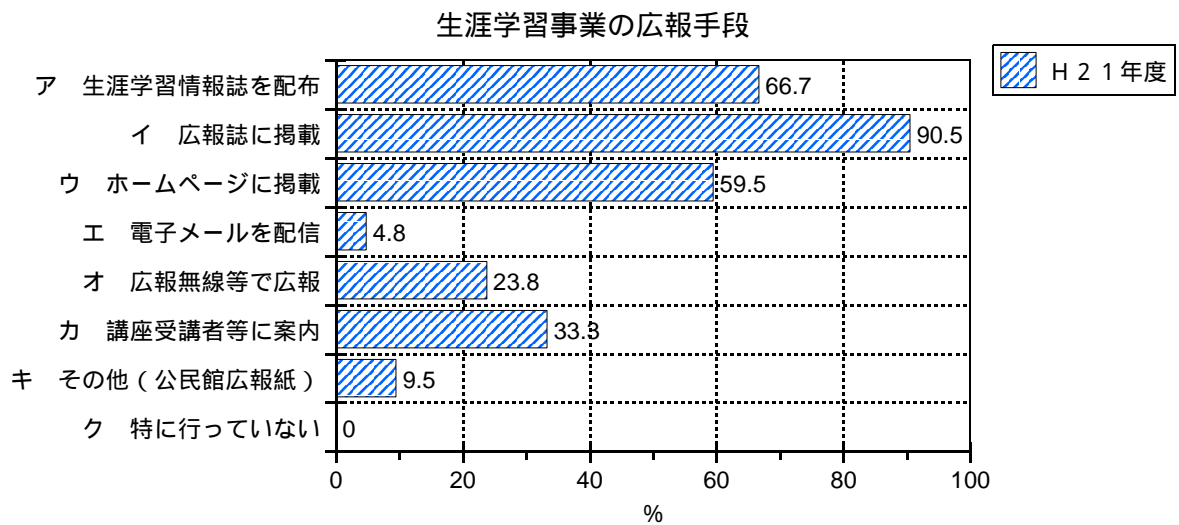
市町村の「地域づくり型生涯学習」の講座内容



・講座の内容は、g:まちづくり、e:高齢者・シニア活用、c:歴史・自然に関するものが多い。

問9 生涯学習の講座等やイベントの広報は、どのように行っていますか。次のア～クのうち、該当する項目すべてに をつけてください。

	計
ア 「生涯学習情報誌」として配布している。	28 (66.7%)
イ 市町村の「広報誌」に掲載している。	38 (90.5%)
ウ 市町村のホームページに掲載している。	25 (59.5%)
エ 登録者に電子メールで配信している。	2 (4.8%)
オ ケーブルテレビや広報無線で知らせている。	10 (23.8%)
カ 講座の受講者やイベントの参加者に、終了時に今後の企画について案内している。	14 (33.3%)
キ その他 (...各地区公民館広報紙など)	4 (9.5%)
ク 特に広報は行っていない。	0



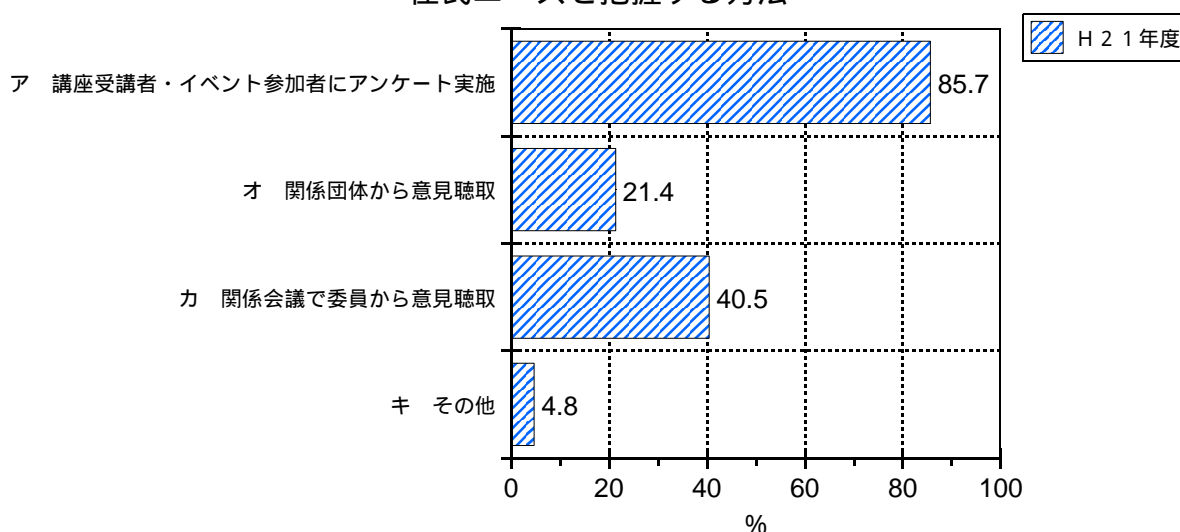
・情報誌、広報誌やホームページなど、多彩な方法で生涯学習事業の広報がなされている。

問10 講座も含め、生涯学習関連の事業を進めるにあたって、住民のニーズをどのように把握していますか。次のア～キのうち、該当する項目すべてに をつけてください。【改訂】

	計
ア 公民館講座の受講者やイベントの参加者にアンケートを実施している。	36 (85.7%)
オ 関係団体から意見を聴いている。	9 (21.4%)
カ 関係会議の場で委員から意見を聴いている。	17 (40.5%)
キ その他	2 (4.8%)

オの団体例	・文化協会 ・生活学校 ・公民館長 など
カの会議例	・生涯学習推進会議 ・公民館運営審議会 ・社会教育委員の会

住民ニーズを把握する方法



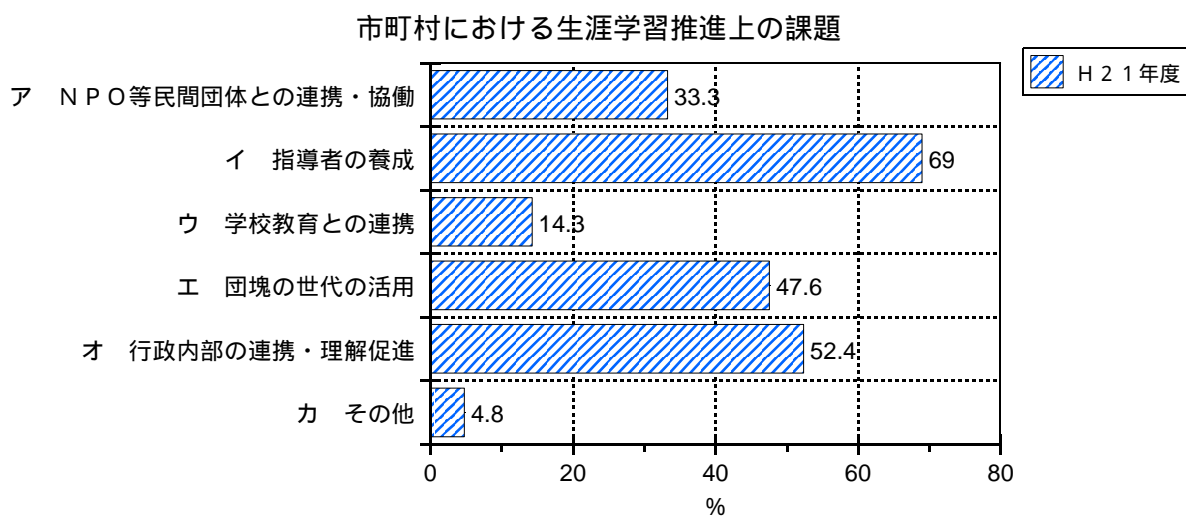
問11 今年度実施された取組、あるいは来年度新たに計画されている取組で、貴市町村の特徴的なもの（生涯学習講座を含む）があれば書きください。【改訂】

公民館では「入門コース」を開設し、大学では中級・上級コースの講座を開設し学習内容の分担を図る大学との連携講座を行う。  
 外国人登録者数が多いことから、多文化共生に関する講演会や講座を開設した。  
 NPO法人企画運営による子ども用歴史ガイドブック発刊と小学校と連携したふるさと歴史学習を実施した。  
 地元出身の芸術家による美術教室・はり絵教室を実施した。

問12 貴市町村における生涯学習推進上の課題は何ですか。次のア～シのうち、該当する項目すべてに をつけてください。【改訂】

	計
ア NPO等民間団体との連携・協働	14 (33.3%)
イ 指導者の養成	29 (69.0%)
ウ 学校教育との連携	6 (14.3%)
エ 団塊の世代の活用	20 (47.6%)
オ 行政内部の連携・理解促進	22 (52.4%)
カ その他	2 (4.8%)

カの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制：役所全体で進めることなのに、生涯学習課が教育委員会にあること。</li> <li>・コーディネーターの養成</li> </ul>
-----	---





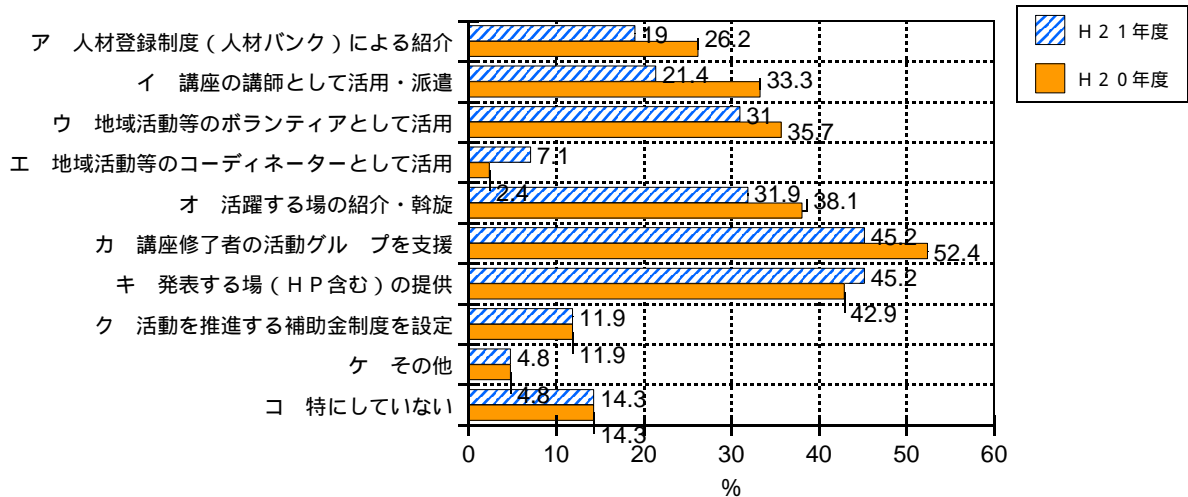
### C 人材の育成・活用について

問13 生涯学習講座の修了者に対して、学んだ成果を生かすことができるような取組（フォローアップ）を行っていますか？ 次のア～コのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計	20年度
ア 人材登録制度（人材バンク）を設け、広報誌やホームページなどを利用して紹介している	8 (19.0%)	1 1
イ 講座の講師として活用または派遣している。	9 (21.4%)	1 4
ウ 講座や地域活動のボランティアとして活用している。	1 3 (31.0%)	1 5
エ 講座や地域活動をコーディネートする人材として活用している。	3 (7.1%)	1
オ 活躍する場を紹介、斡旋している。	1 3 (31.9%)	1 6
カ 講座修了者が結成した活動グループを支援している。	1 9 (45.2%)	2 2
キ 学んだ成果を発表する場（ホームページを含む）を提供している。	1 9 (45.2%)	1 8
ク まちづくり活動を推進するための補助金制度を設けている。	5 (11.9%)	5
ケ その他	2 (4.8%)	2
コ 特にない。	6 (14.3%)	6

ケの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップを実施</li> <li>・講座修了のみで講師となることは難しく、その後のサークル化などを支援</li> </ul>
-----	---

生涯学習講座修了者へのフォローアップ

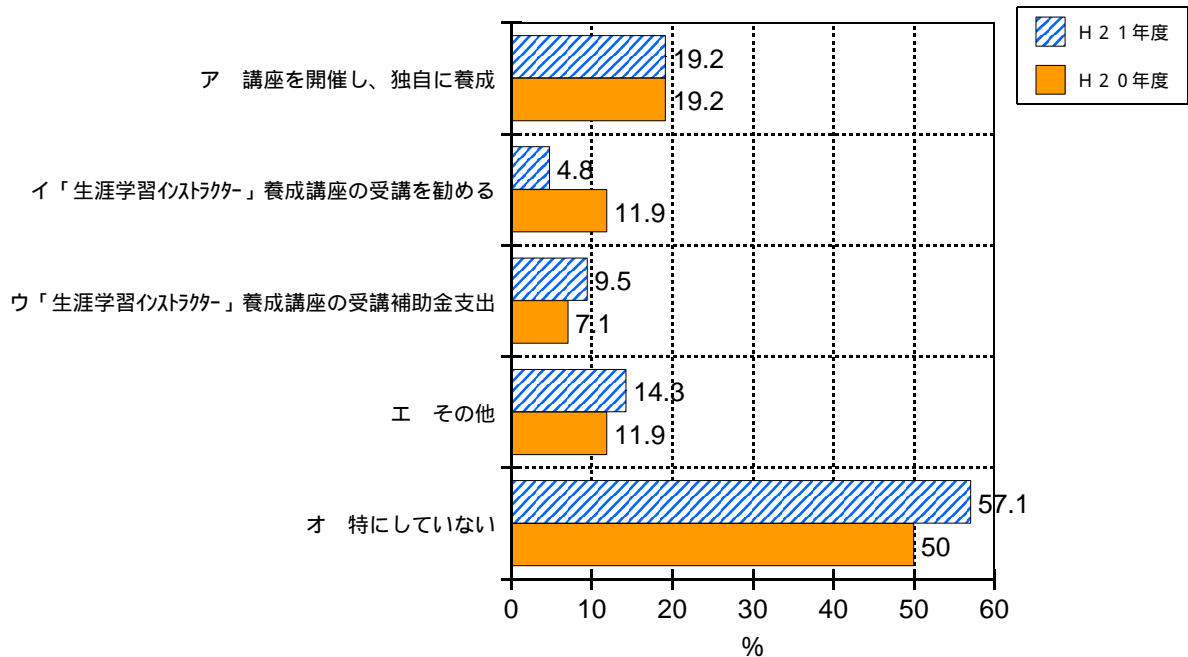


問14 生涯学習を推進する人材の育成について、どのような取組をしていますか。次のア～カのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計	20年度
ア 講座を開催し、独自に養成している。	8 (19.0%)	8
イ 「生涯学習インストラクター」養成講座（文部科学省認定の社会通信教育講座）の受講を勧めている。	2 (4.8%)	5
ウ 「生涯学習インストラクター」養成講座（文部科学省認定の社会通信教育講座）の受講にあたって補助金を支出している。	4 (9.5%)	3
エ その他	6 (14.3%)	5
オ 特になし。	24 (57.1%)	21

エの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催の生涯学習講座の講師を務めてもらう。</li> <li>・生涯学習リーダーバンクの登録者研修会、学校コラボレーター研修会実施</li> <li>・通常講座の学習課題の一部で受講の機会を設けている。</li> <li>・「まちの先生」として登録</li> <li>・地域住民を公民館講座の講師として活用している</li> <li>・生涯学習推進委員会市民部会部員を公募している。</li> </ul>
-----	--

生涯学習を推進する人材育成の取組



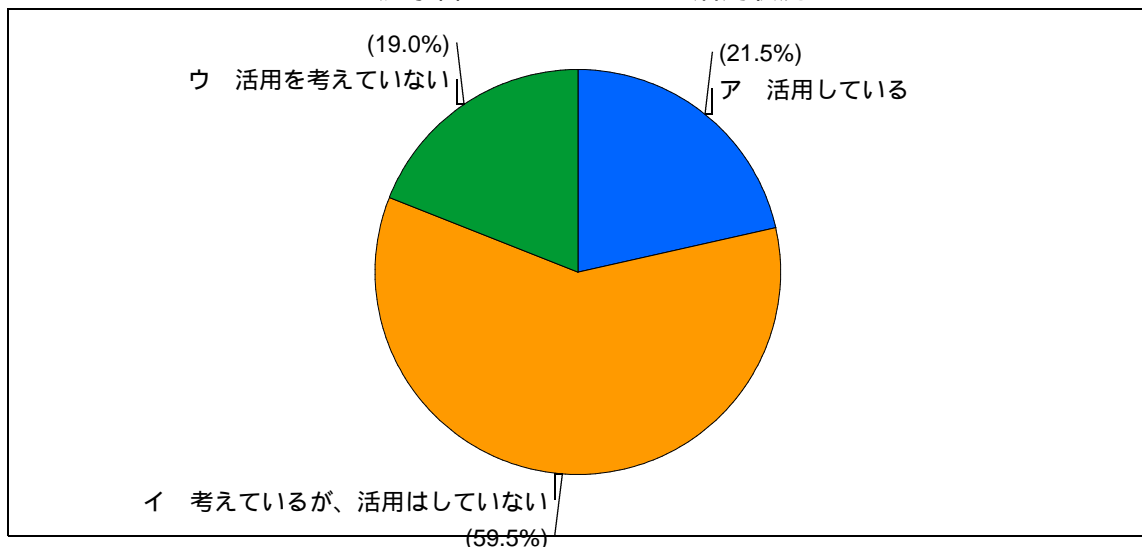
・半数の市町村が、生涯学習を推進する人材の養成を特に行っていない。

問15 県では平成14年度から、「生涯学習に関する情報提供、相談、講座の企画・立案ができる人材」として「岐阜県生涯学習コーディネーター」を養成しており、これまでに374名を養成しました。この「岐阜県生涯学習コーディネーター」の活用について、次のア～ウのうち該当するものを1つ選び、 をつけるとともに、「ア」の場合にはその活用例を、「イ・ウ」の場合にはその理由をお書きください。【改訂】

ア 活用を図っており、活用している。	イ 活用は考えているが、実際は活用をしていない。	ウ 活用を考えていない。
9 (21.4%)	25 (59.5%)	8 (19.0%)

アの活用例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に生涯学習講座を企画・提案してもらっている。</li> <li>・資格取得者のうち何名かが生涯学習アドバイザーの会員となっている。</li> <li>・今年度、岐阜県生涯学習コーディネーター及び生涯学習インストラクターの合同会議を3回開催した。</li> <li>・生涯学習コーディネーターを職員に採用し、市全体の活動に携わっている。</li> </ul>
イの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成された生涯学習コーディネーターとの接点がない。</li> <li>・生涯学習コーディネーターの志に差があり、公平に活用することは難しい。</li> <li>・活用できる機会や具体的な活用方法、活用場所が分からない。(複数)</li> <li>・ニーズに合った生涯学習コーディネーターがない。(複数)</li> <li>・ボランティアでの活用を考えると企画運営を任せてしまうこともできず担当者との関係上、どう運用したらよいか悩んでいる。</li> <li>・適切なプログラムが提案できない。活用できるような環境が整っていない。</li> </ul>
ウの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者は既に公民館主事として各地区公民館の指導を行っているため。</li> <li>・担当者と生涯学習関係者との話し合いにより、講座の計画などができているため。(複数)</li> <li>・「まちの先生」として登録されている人材が既にあるため。</li> <li>・必要性を感じない。</li> <li>・生涯学習コーディネーターの質に問題があり、以前にトラブルになった。継続的な研修や資格の更新制導入が必要ではないか。</li> <li>・情報を非公開にしておられ、生涯学習コーディネーターの情報がない。</li> </ul>

生涯学習コーディネーター活用状況

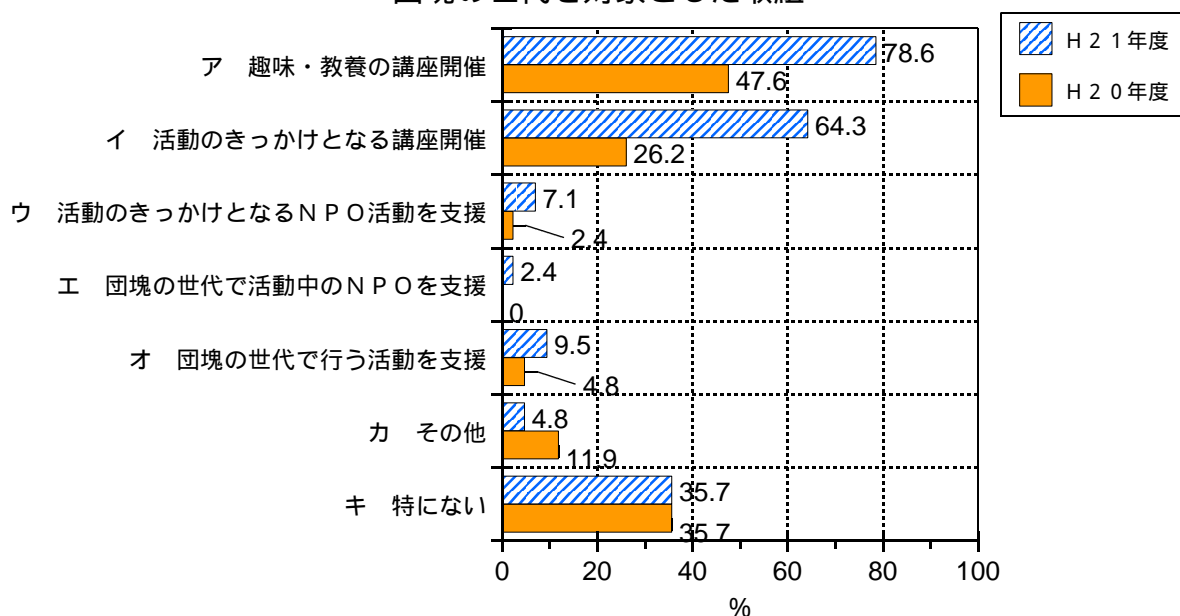


### D 「団塊の世代」に対する取組について

問16 団塊の世代を対象として、どのような取組をしていますか。次のア～キのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計	20年度
ア 趣味や教養などの学習講座を開催。	33 (78.6%)	20
イ 地域づくり活動を行うきっかけとなる講座を開催。	27 (64.3%)	11
ウ 地域づくり活動を行うきっかけづくりをしているNPO等の活動を支援。	3 (7.1%)	1
エ 団塊の世代を構成員として活動するNPO等を支援。	1 (2.4%)	0
オ 団塊の世代が主体となって行う地域づくり活動を支援。	4 (9.5%)	2
カ その他	2 (4.8%)	5
キ 特にない。	15 (35.7%)	15

団塊の世代を対象とした取組



- ・「趣味・教養などの学習講座」が増加（昨年度のべ20 33市町村）
- ・「地域づくり活動を行うきっかけとなる講座」も増加。（昨年度のべ11 27市町村）
- ・「団塊の世代」を対象とした何らかの取組は県内2/3の市町村で実施。

### E 「生涯学習総合推進会議」について

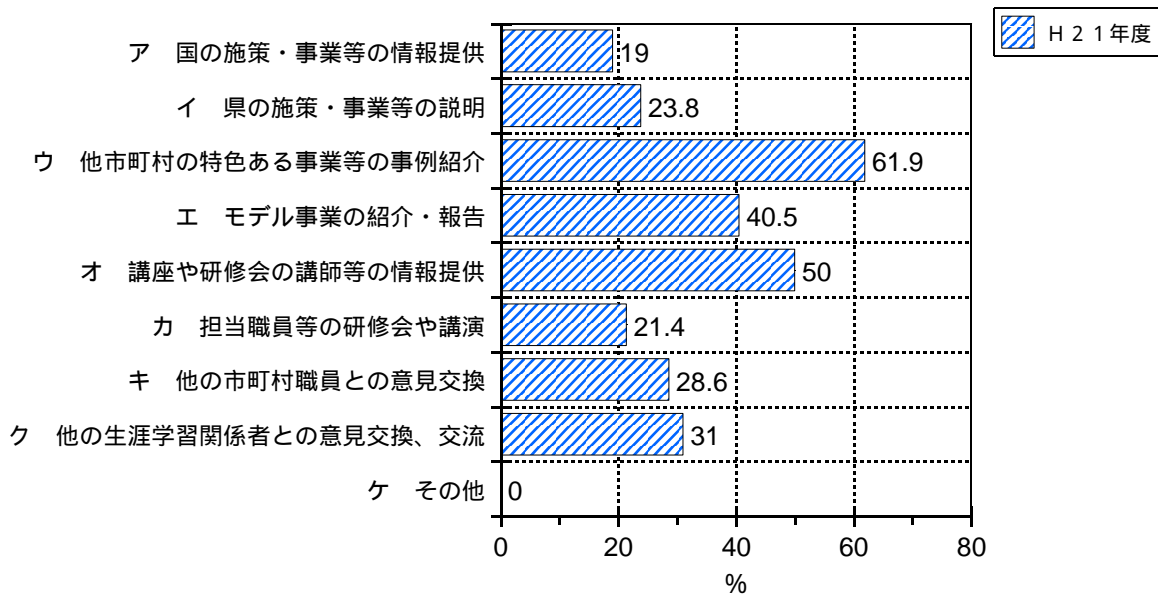
問17 今年度は年2回開催（予定）していますが、実施回数は適切だと思われますか。次のア～ウのうち1つ選び、をつけてください。

ア よい	イ もっと回数を増やした方がよい	ウ なくてもよい	無回答
37(20年度:32)	1(20年度:0)	2(20年度:10)	2

問18 この会議で実施を望まれることは何ですか。次のア～キのうち、該当する項目すべてにをつけてください。【改訂】

	計
ア 国の動向（施策・事業等）についての情報提供	13(19.0%)
イ 県の施策・事業等の説明	13(23.8%)
ウ 他の圏域・市町村の特色ある事業、取組等の事例紹介	28(61.9%)
エ 「地域づくり型生涯学習」モデル事業の紹介・報告	14(40.5%)
オ 講座や研修会の講師等の情報提供	25(50.0%)
カ 担当職員等の研修会（講演など）	9(21.4%)
キ 他の市町村職員との意見交換	12(28.6%)
ク NPOやボランティア団体等、生涯学習関係者との意見交換、交流	13(31.0%)
ケ その他	0

生涯学習総合推進会議で望むこと



・会議では、「他の圏域・市町村の特色ある事業、取組等の事例紹介」や「講座や研修会の講師等」に関する情報提供が望まれている。

問19 このほか、この会議に対するご意見、ご要望があれば、以下にお書きください。

他市町の「生涯学習コーディネーター養成講座」の開催状況について情報が欲しい。県の生涯学習コーディネーター養成講座が無くなったが、同様の講座を自市での開催が難しいため近隣の市町で開催しているところがあれば市民に紹介し、参加を促したい。それぞれ圏域により状況が異なると思われるので、担当者会議は以前のように5圏域で実施したほうがよいと思う。会場を岐阜に限定せず、特色ある事業を実施している場所へ出かけていくような会議の持ち方を検討してほしい。行政職員以外に地域活動者が多く参加できるよう、検討してほしい。

## F その他

問20 生涯学習全般について、その推進にあたって、ご意見等があれば以下に自由にお書きください。

### 【地域づくり型生涯学習】

生涯学習の基本は、個人の自由意志に基づく自己完結型の学習活動である。そのような基本を踏まえた上で、地域づくり型生涯学習を進めていく必要がある。地域づくり型生涯学習は学習者の「出来ること」を「出来る範囲内」で地域に対して還元し達成感や充実感を得る行為。現在の地域づくりの担い手は、「新しい公共」としての役割を望まれている。同様に地域づくり型生涯学習についても、これまでモデル事業を実施してきた2市1町を含め、新たに地域づくり型生涯学習を始めようとするところは「新しい公共」という観点からの活動を視野に入れた活動範囲を考えていくことが必要になってくる。

### 【生涯学習の対象】

限られた人だけの生涯学習になっていないかをよく考えて推進していかなければならないと思っはいるが、無関心な人や何をしたいのかわからない人など多くの市民をとりこんでの生涯学習は難しい。

### 【生涯学習視聴覚フォーラム】

生涯学習視聴覚フォーラムが行われているが、関係者だけの大会となっており、もったいない気がする。コンクール出品作品も「地域づくり型生涯学習」活動を取り上げた部門を採用するなど工夫があつて良いかと思う。

### 【モデル事業】

「地域づくり型生涯学習モデル事業」の中間、最終報告会へ多くの学習者が出席し、意見交換ができるよう行政の取組が求められる。

### 【事業への補助】

国・県及び各市町村においては財政が厳しいと思われるが、何らかの補助があれば事業推進のきっかけとなると考える。

### 【生涯学習と社会教育】

生涯学習の中核は社会教育行政であるとよく言われますが、県の段階で双方の立ち位置（人づくり文化課と社会教育文化課）を明確にしたうえで、研修事業などを実施していただきたい。